

J

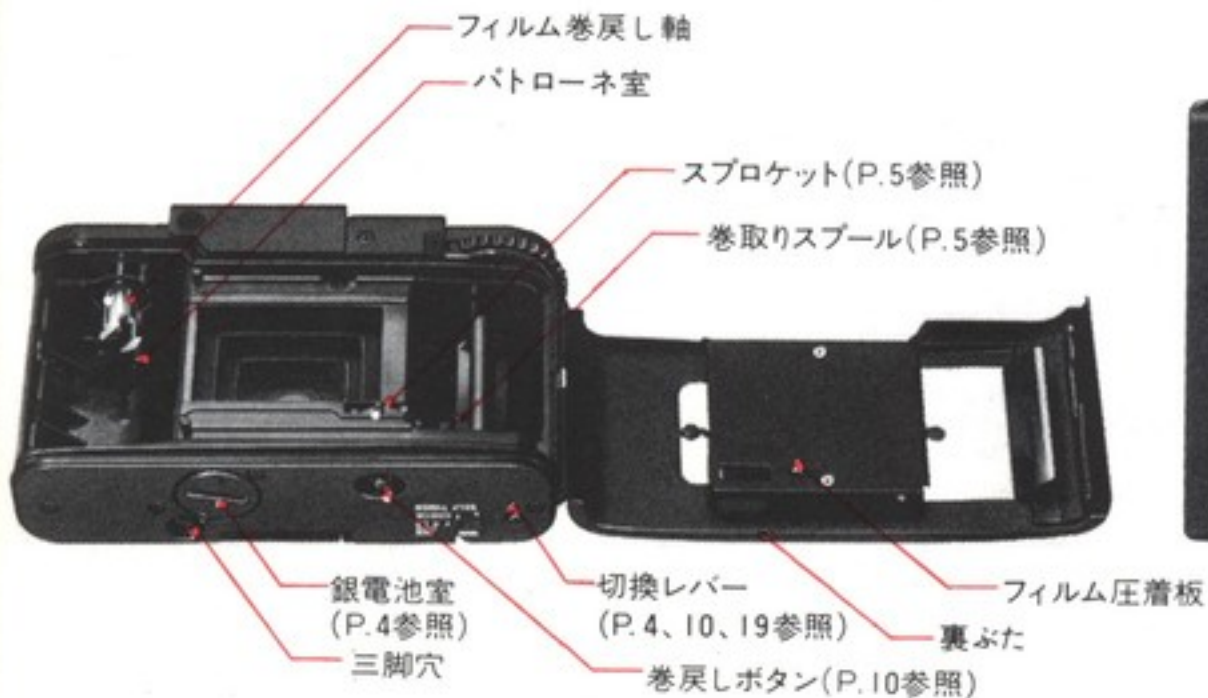
OLYMPUS

XA

使用説明書 ■ INSTRUCTIONS

各部の名称





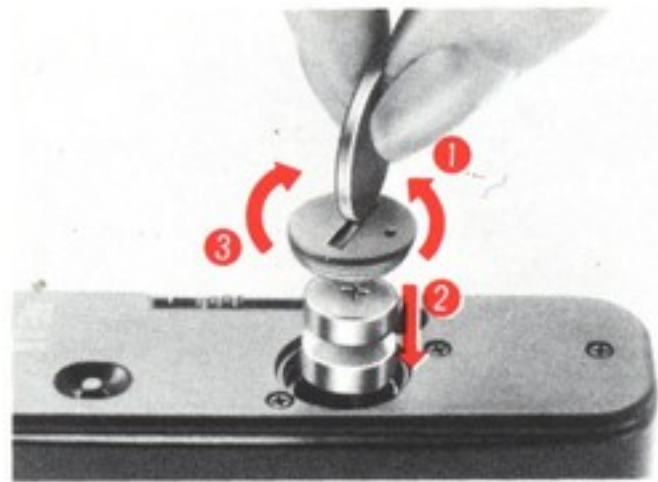
目次

このたびは、オリンパスXAをお求めいただき、ありがとうございました。XAは、これまでのカメラにはない新しい価値をもった35ミリカメラです。使い方も、これまでにない部分がありますので、この説明書をよくお読みいただき、楽しい写真の世界をひろげてください。

各部の名称	1・2
写す準備をしましょう	
●電池を入れます	4
●フィルムを入れます	5・6
カンタンに、正しく写しましょう	
●絞りを決めます	7
●ピントを合わせます	8
●シャッターをきります	9
●フィルムを巻戻します	10
●セルフタイマーは、このように使います	10
●専用ストロボA16・A11は、このように使います。	11～14
テクニックを楽しみましょう	
●絞りの効果を生かすテクニック	15・16
●シャッタースピードの効果を生かすテクニック	17・18
●逆光を補正するテクニック	19・20
●ストロボ撮影のテクニック	21
ご注意ください	22
正しく保管してください	23
アフターサービス	24
おもな性能	25・26

写す準備をしましょう

●電池を入れます。(アルカリ、リチウム電池は使用しないでください)



1. 電池を正しく入れます。



2. 正しく入ったかチェックします。

レバーを・CHECKに合わせ、音と光ができれば正しく入っています。

(ご注意)

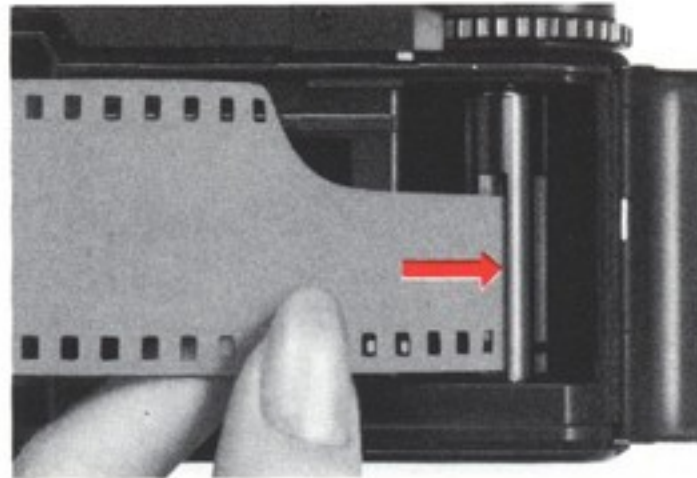
- ①チェック中にはシャッターを切らないでください。消費電力が多くなり、シャッターが開きっぱなしになります。そのときはレバーを元にもどしてください。
- ②電池は必ず2個まとめて交換してください。
- ③電池の寿命は、普通に使用して約1年ほどです。
- ④レバーを・CHECKに合わせても、音と光がでないときは、電池を入れまちがっているか、電池がなくなっています。

●フィルムを入れます。



1. バリアを閉め、裏ぶたを開けてフィルムを入れます。

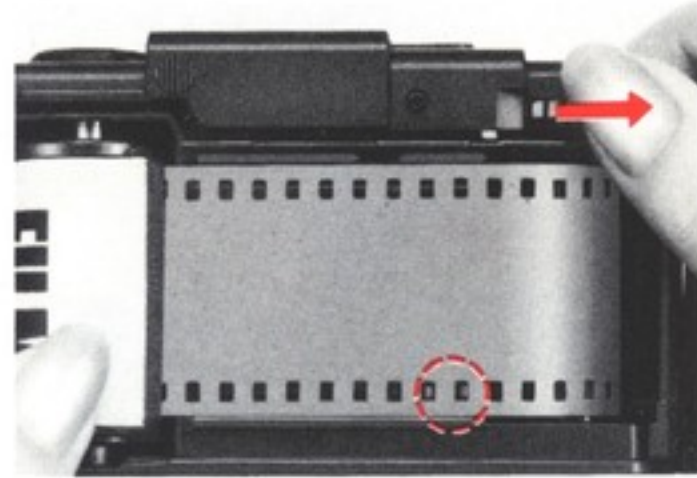
直射日光のあたるところでは、フィルムを入れないようにしてください。



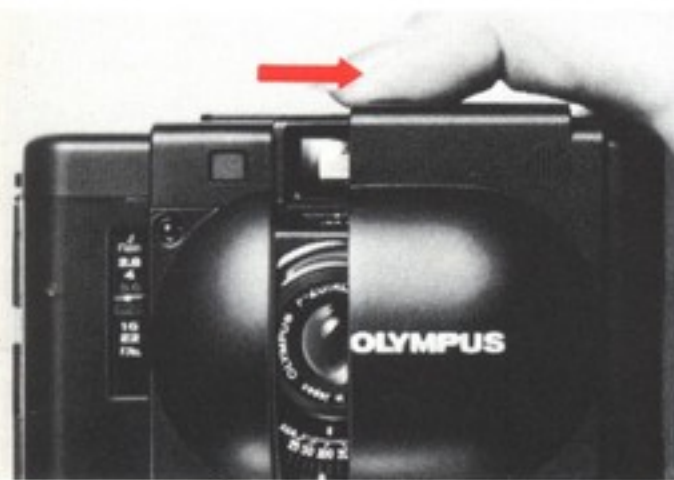
2. フィルムの先をさしこみ、巻上げます。

先が出すぎないように注意しましょう。

フィルムの穴が、歯車にかみあうまで巻上げます。



3. 巻上げてフィルムのたるみを取り、裏ぶたを閉じます。



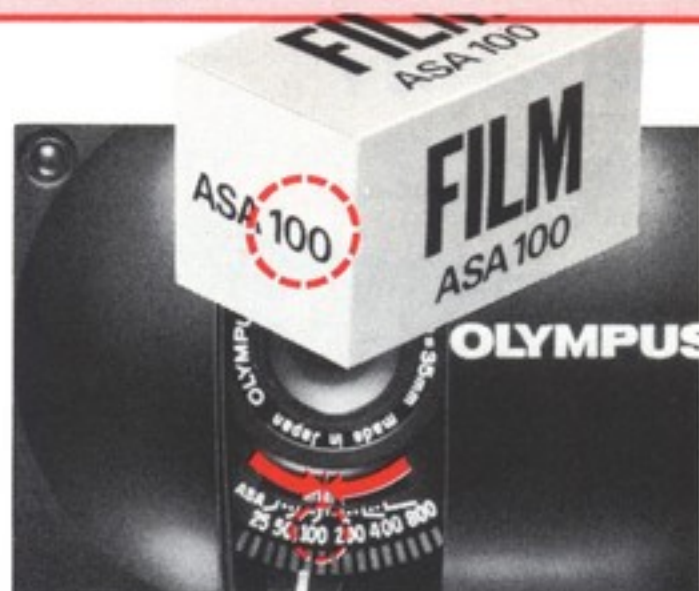
4. バリアを開けます。

完全に開いていないと、安全装置が働いてシャッターが切れません。



5. 2回、から写しをし、フィルム駒数計が「1」になるまで巻上げます。

明るいところで、から写しをしてください。



6. フィルムの感度をセットします。

カンタンに、正しく写しましょう

●絞りを決めます






1. バリアを開けて、絞りの▲をセットします。



2. ファインダー内で、シャッタースピードを確かめます。

上部の矢印で示した線はバララックス(視差)補正マークです。1m以内の近距離撮影の場合、このマークより内側に写したいものが入るようにします。

絞りのめやす (ASA100の場合)

天候			
絞り値 (F)	16	8	4

絞りをフルに利用して撮影したい方はP15. 16参照



指針が斜線部に入ったら露出オーバーです。500(1/500秒)以下になるように絞りの▲を下方に動かしてください。



30(1/30秒)より指針が下がったら絞りの▲を上を上げましょう。30より上がらないときはカメラブレに気をつけましょう。

●ピントを合わせます



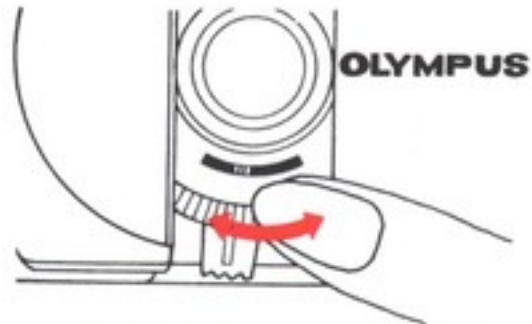
3. ファインダーをのぞいて構図を決め、ピントを合わせます。



ピントが合っていないとき



ピントが合ったとき



レバーを動かして、ファインダー中央にある四角部分の2重の像がひとつになるようにします。

四角部分の中央で合わせるようにしてください。

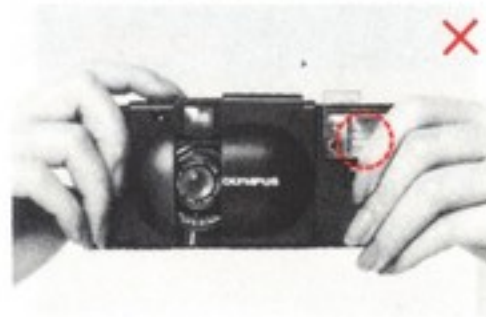
三脚を使うときなどは、レバーの上にあるローレット(ギザギザの部分)を動かして合わせるができます。

●シャッターをきります。



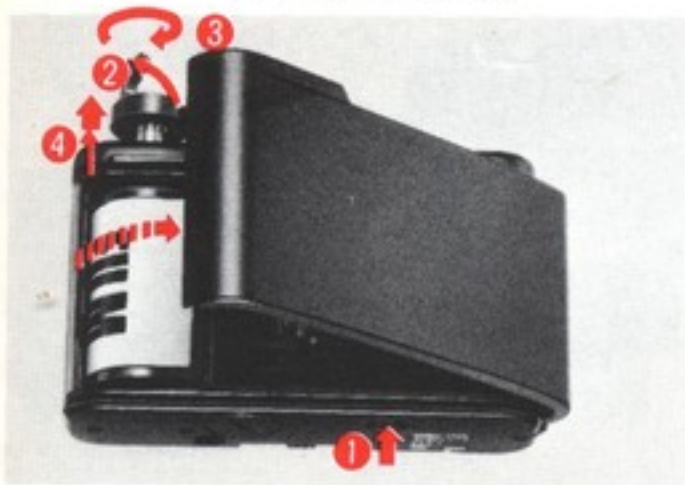
4. カメラをかまえて、触れるようにシャッターを切ります。

押すというより、触れるだけでシャッターが切れ、カメラブレを防いでいます。



レンズやストロボの発光部に指がかからないようにかまえましょう。

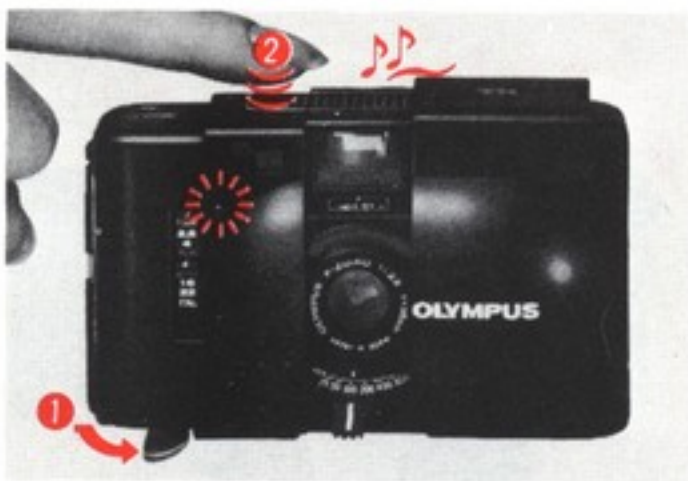
●フィルムを巻戻します。



5. フィルムを撮り終わったら、巻戻して取りだします。

バリアを閉めて、巻戻しボタンを押し、フィルムを巻戻します。急に軽くなるまで回したら、直射日光のあたらないところで裏ぶたを開けてフィルムを取りだします。

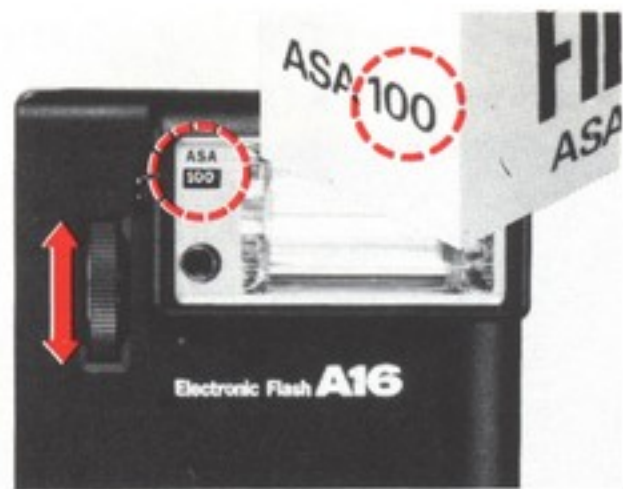
●セルフタイマーは、このように使います。



レバーをセットして、シャッターを切ります。SELF TIMERの位置までレバーを引きだし、シャッターボタンに触れると音と光が点滅して約12秒後にシャッターが切れます。途中で中止したいときは、レバーを元の位置に戻します。レバーは簡易三脚としてカメラを安定させる役目もはたします。また三脚を使うときは無理に強い力で三脚ネジをしめないでください。

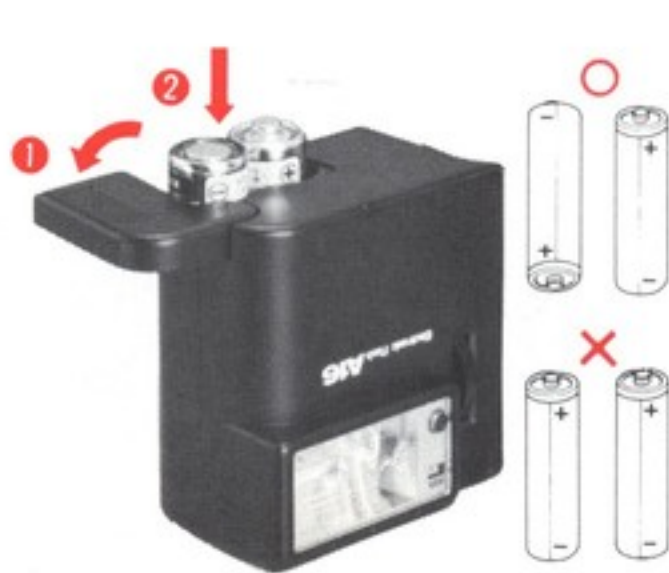
ストロボ撮影をしましょう

●専用ストロボA16は、このように使います。



1. フィルムの感度をセットします。

ストロボをお使いになる時には、ASA 100又は400のフィルムをお使い下さい。尚カメラに取付ける前に、ASA感度をセットして下さい。電池は市販の単3を2本入れます。



(ご注意) ストロボを取りつけたとき、折りまげるような力を加えないでください。



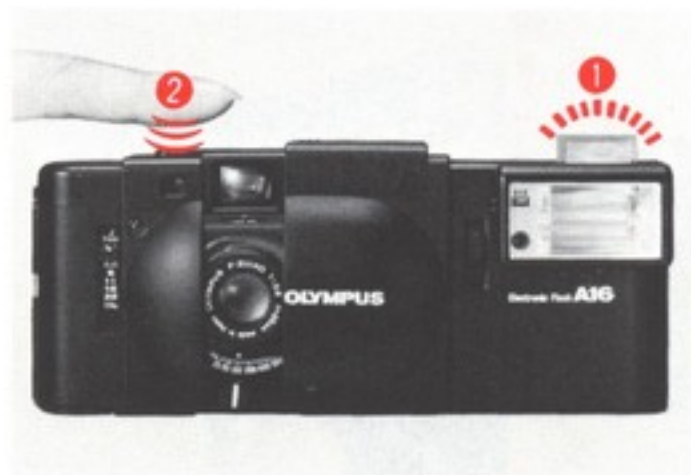
2. XAに取り付けます。

カメラとストロボがピッタリ合うようにガイドを合わせ、ネジをしめて取り付けます。



3. 絞りの▲を⚡に合わせます。

絞りを⚡に合わせて自動的にランプが飛び出します。安全のため絞り目盛に合わせてときより1段重くしてあります。



4. ランプがいたらシャッターを切ります。

ストロボの発光部に指がかからないように気をつけましょう。



5.

撮影が終わったら、必ずランプを止まるまで下げてください。電源が切れます。

(ご注意)

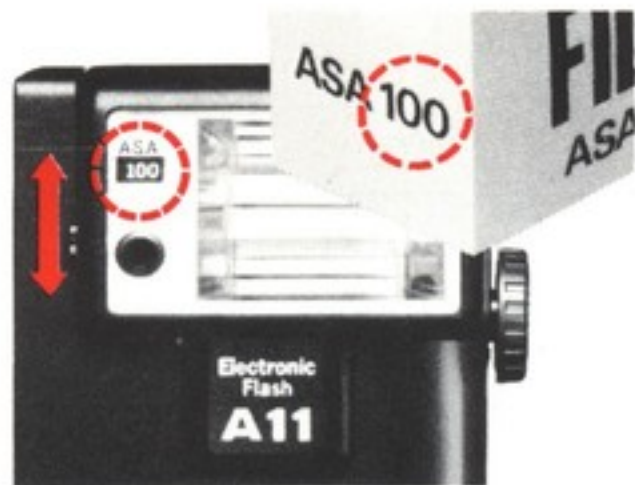
撮影のとき、絞りを⚡から動かさないようにしてください。ズレると露出がくるいします。

この範囲でストロボ撮影ができます。ストロボ本体の裏にも撮影可能範囲のめやすがのっています。



0.85mから4.0mの範囲が可能です(ASA100の場合)

●専用ストロボA11は、このように使います。



1. フィルムの感度をセットします。

ストロボをお使いになる時には、ASA100又は400のフィルムをお使い下さい。尚カメラに取付ける前に、ASA感度をセットして下さい。電池は市販の単3を1本入れます。

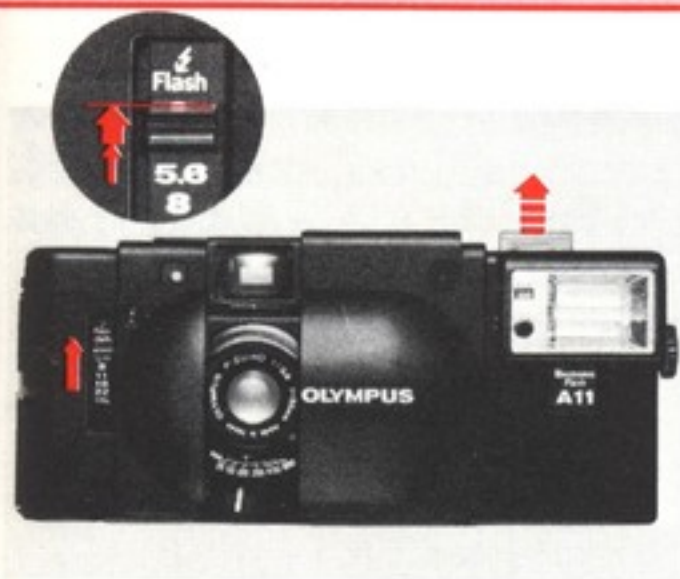


(ご注意) ストロボを取りつけたとき、折りまげるような力を加えないでください。



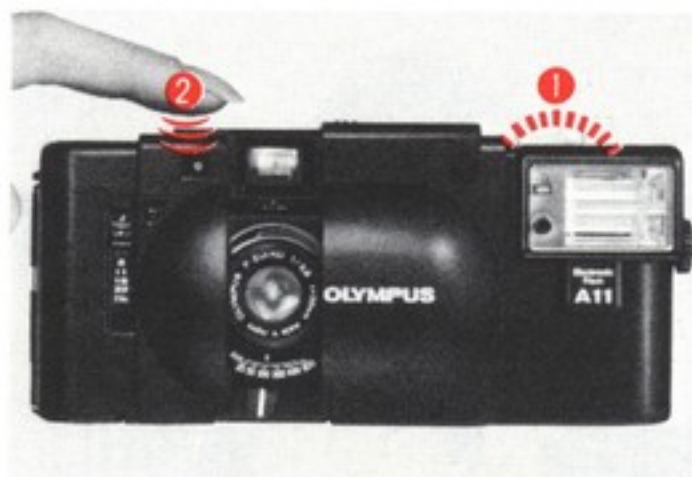
2. XAに取り付けます。

カメラとストロボがピッタリ合うようにガイドを合わせ、ネジをしめて取り付けます。



3. 絞りの▲を⚡に合わせます。

絞りを⚡に合わせると自動的にランプが飛び出します。安全のため絞り目盛に合わせるときより1段重くしてあります。



4. ランプがいたらシャッターを切ります。

ストロボの発光部に指がかからないように気をつけましょう。



5.

撮影が終わったら、必ずランプを止まるまで下げてください。電源が切れます。

(ご注意)

撮影のとき、絞りを⚡から動かさないようにしてください。ズレると露出がくるいします。

この範囲でストロボ撮影ができます。ストロボ本体の裏にも撮影可能範囲のめやすがのっています。



0.85mから2.5mの範囲が可能です(ASA100の場合)

テクニックを楽しみましょう。

●絞りの効果を生かすテクニック



前後のボケを生かしたいとき **F2.8**



前後もシャープに写したいとき **F22**

絞りを数字の大きい方(F22側)にするほど、近くから遠くまでピントが合ってきます。逆に絞りを数字の小さい方(F2.8側)にすると、写したいものの前後がボケ、独得の効果が生まれます。たとえば距離1mのものを写すとき、絞りF4では、右の表をみると0.91~1.12mの範囲でピントが合うことがわかります。

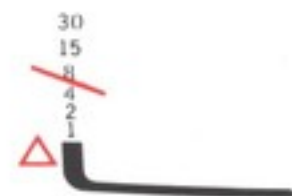
距離目盛 絞り	※ 0.85	※ 1	※ 1.5	2	※ 3	5	10	※ ∞
2.8	0.80 0.91	0.93 1.08	1.35 1.69	1.73 2.37	2.43 3.93	3.59 8.27	5.57 50.1	12.4 ∞
4	0.78 0.93	0.91 1.17	1.30 1.78	1.65 2.55	2.26 4.49	3.23 11.2	4.74 ∞	8.89 ∞
5.6	0.76 0.97	0.87 1.17	1.23 1.93	1.54 2.87	2.06 5.62	2.83 22.4	3.92 ∞	6.36 ∞
8	0.73 1.03	0.83 1.27	1.14 2.21	1.40 3.55	1.81 9.02	2.39 ∞	3.12 ∞	4.47 ∞
11	0.69 1.12	0.78 1.41	1.05 2.69	1.26 5.02	1.58 38.1	2.00 ∞	2.48 ∞	3.26 ∞
16	0.64 1.31	0.71 1.74	0.93 4.24	1.08 16.7	1.31 ∞	1.58 ∞	1.86 ∞	2.26 ∞
22	0.58 1.66	0.64 2.42	0.81 14.3	0.93 ∞	1.08 ∞	1.27 ∞	1.43 ∞	1.65 ∞

ピントの合う範囲です。(表中の※は、レンズの距離環に刻まれている目盛を示す。)

許容ボケの直径 $\frac{1}{50}mm$

絞りの効果を生かすとき、シャッタースピードに気をつけましょう。斜線部に指針がくると露出オーバーになります。500(1/500秒)以下で写すようにしてください。

30(1/30秒)以下のときはカメラブレに注意してください。



●シャッタースピードの効果を生かすテクニック



動きを流して効果をだしたいとき

1/8秒



動きを止めて写したいとき

1/500秒

動きの早い被写体を写すときは、被写体がブレやすくなります。これを止ったように写す場合は、シャッタースピードを早くします。逆に遅くして、わざとブレさせ躍動感をだすのもテクニックです。



絞りを動かしてシャッタースピードをきめます。



絞りを動かすと、ファインダー内のシャッタースピード指針が動きます。指針が希望のシャッタースピードになるまで絞りを動かしてください。

●逆光を補正するテクニック



補正前



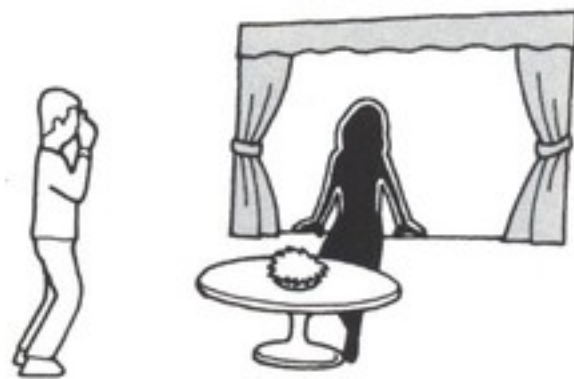
+1.5段補正

明るい空、晴天の海辺、雪原などをバックにした撮影、窓を背にした撮影など、逆光線で撮影するときは、顔が黒く写ります。こんなときは、露出の補正が必要です。



レバーで簡単に補正できます。

レバーを一段引き出し・BACK LIGHT +1.5に合わせ、そのままシャッターを切ります。またASA感度でも変えることができます。



こんなときは露出を補正するときれいに写ります。

●ストロボ撮影のテクニック



日中シンクロなどで使うとき。



A16側のレバーをFULLにセットします。
ガイドナンバー16(ASA100)から絞りを計算し、マ
ニュアル発光で写します。
絞り計算式 絞り = $\frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{被写体までの距離}}$



A11側のレバーをFULLにセットします。
ガイドナンバー10(ASA100)から絞りを計算し、マ
ニュアル発光で写します。
絞り計算式 絞り = $\frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{被写体までの距離}}$

ご注意ください

●バリアを完全に開けないとシャッターが切れません。安全装置が働いて電子回路のスイッチが入らないからです。

●シャッターは押すというより、触れるように切ってください。XAは、世界初の感圧導電材によるフェザータッチシャッターで、カメラブレが起きにくくなっています。写さないときはバリアを閉めると、シャッターロックになります。

●フィルムを入れるときは、バリアが閉まってもシャッターがきれます。裏ぶたを開けると自動的にフィルムそうてん用の電子回路が働くからです。

●バリアの開閉や、レバーやノブ、またファインダーの窓な

どに、ムリに強い力を加えないようにしてください。ストロボを取りつけるときも気をつけましょう。また三脚を取りつけるとき、三脚を持って、カメラを回さないでください。ムリに回すと三脚穴がこわれます。

●フィルターは使用できません。ネガカラーフィルムでのカラー補正は、現在ではフィルターをつけなくても、現像所で自動的に補正されるようになっています。

正しく保管してください

●湿気の多いところに保管しないでください。できるだけ乾燥した空気の流通のよいところにしまってください。

●落したり、大きな衝撃を与えないようにしてください。また高温(50°C以上)、低温(-20°C以下)の中に長くおくことはやめましょう。低温(-10°C以下)で使用するときは、正しく動かないときがありますから、カメラを暖めてから使ってください。

●テレビ、ラジオ、その他強い磁石のそばに長くおかないようにしてください。

●水没は修理不能になりますので、ご注意ください。

●レンズやファインダーには指をふれないように注意しましょう。もしふれたときは、すぐノリのついていない木綿布でふいてください。そのままにすると指紋などがとれなくなります。

●使わないときは、電池の消耗やホコリを防ぐためにバリアを完全に閉めておいてください。

●カメラの具合の悪いときは、すぐ最寄りのオリンパスサービスステーションにお持ちください。

●フィルム室はシンナー、アルコール、エーテル等の有機溶剤でふかないようにして下さい。よごれている場合は乾燥した清潔な布でおふきください。

アフターサービス

1. 保証書はお買上げの販売店からお渡しいたしますので、「販売店名・お買上げ日」等の記入されたものをお受け取り下さい。また、保証内容をよくお読みの上大切に保管して下さい。
2. 保証期間中、万一故障した場合は「保証書」をお読みの上お買上げ店またはお近くの当社サービスステーションにお申し出下さい。
3. 保証期間経過後の修理については原則として有料となります。また運賃諸掛りはお客様にご負担願います。
4. 本製品の補修部品は、製造打切後7年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買上げの販売店または、当社サービスステーションにお問合せ下さい。

XAのおもな性能

XA

型 式	35mmレンズシャッターカメラ	駒 数 計	順算式 自動復元
画 面 サ イ ズ	24×36mm(35ミリサイズ)	フ ィ ル ム 巻 戻 し	クランク式 巻戻しボタンセット式
レ ン ズ	FズイコーF2.8 f=35mm 5群6枚	レ リ ー ズ	電磁式フェザータッチシャッターボタン
シャッター	電子式ピトウィン レンズシャッター	セルフタイマー	電子セルフタイマー 12秒(フェザータッチシャッターボタンでスタート)・LED点滅、PCV電子サウンド表示付
シンクロ形式	X接点	フラッシュ取付	専用ストロボ着脱式
ファインダー	ブライトフレームファインダー 0.55倍(シャッター速度表示付・不適正露出表示付)	フラッシュ調節	オートストロボによる発光量自動調節(絞りレバーによりフラッシュ切替およびストロボスイッチON)
ピント調節	二重像合致式一眼連動距離計による 0.85m~∞	バ リ ア	スライド開閉式・開で電源スイッチON レリーズ可能。閉で電源スイッチOFF レリーズロック(安全装置付)
露出調節	絞り優先式の電子シャッターによる自動露出調節(シャッター自動調節範囲 10秒~1/500秒 露出補正方式 レバー切替くセルフレバーと兼用)+1.5EV)	電 源	1.5V銀電池 2個使用 JIS・SR44(G13型)銀電池
フィルム感度	ASA25~800	大 き さ	巾102×高さ64.5×厚さ40mm
絞 り	F2.8~22	重 量	225g(電池別)
巻 上	リヤーワインディング式 巻上角360°		

A16のおもな性能

エレクトロニックフラッシュA16

型 式	オートストロボ オリンパスXAシリーズ専用
ガイドナンバー	16(ASA・100m)
使用するフィルム感度	ASA100、400
フラッシュモード	普通オート、マニュアルレバー切換式
オートストロボ時の絞り	F4
照 射 角 度	35ミリレンズの画角をカバーする
発 光 回 数	単3アルカリ乾電池で150回
発 光 間 隔	単3アルカリ乾電池で5秒
カメラ取付形式	オリンパスXAシリーズ専用マウント
電 源 ス イ ッ チ	電源ON、カメラ側操作による(チャージランプのポップアップによる確認式)。電源OFFチャージランプ押し込み式
電 源 電 池	単3型2本(Ni-Cd使用可能)
大 き さ	60(高さ)×51.5(カメラ装置時の延長量)×38(厚さ)mm
重 さ	80g(電池別)

A11のおもな性能

エレクトロニックフラッシュA11

型 式	オートストロボ オリンパスXAシリーズ専用
ガイドナンバー	10(ASA100m)
使用するフィルム感度	ASA100,400
フラッシュモード	普通オート、マニュアルレバー切換式
オートストロボ時の絞り	F4
照 射 角 度	35ミリレンズの画角をカバーする
発 光 回 数	単3アルカリ乾電池で150回
発 光 間 隔	単3アルカリ乾電池で7秒
カメラ取付形式	XAシリーズ専用マウント
電 源 ス イ ッ チ	電源ON、カメラ側操作による(チャージランプのポップアップによる確認式)。電源OFFチャージランプ押し込み式
電 源 電 池	単3型1本(Ni-Cd使用可能)
大 き さ	60(高さ)×36(カメラ装着時の延長量)×33(厚さ)mm
重 さ	65g(電池別)

OLYMPUS

国内オリンパス・サービス・ステーション所在地

東京	160・東京都新宿区新宿5の17の9 新宿野村証券ビル9F オリンパス・フォトプラザ内……………☎ 03(209)4821
	101・東京都千代田区神田駿河台3の4 龍名館ビル……………☎ 03(251)9826
	160・東京都新宿区西新宿1-22-2 新宿サンエービル……………☎ 03(340)2071
大阪	542・大阪市南区南船場2の12の26……………☎ 06(252)6981
名古屋	460・名古屋市中区錦3の23の31 栄町ビル……………☎052(961)0531
札幌	060・札幌市中央区北3条西4丁目 日本生命ビル……………☎011(231)2320
仙台	980・仙台市一番町1の3の1 日本生命仙台ビル……………☎0222(25)6821
新潟	950・新潟市東大通り1の2の23 北陸ビル……………☎0252(45)7337
大宮	330・大宮市土手町3の19 川村第5ビル……………☎0486(44)0341
千葉	280・千葉市中央4の8の1 千葉フコク生命ビル……………☎0472(25)2456
横浜	220・横浜市西区北幸1の7の2 横浜駅西口ビル……………☎045(311)2041
松本	390・松本市深志1の2の11 松本昭和ビル……………☎0263(36)5331
金沢	920・金沢市香林坊1の2の24 千代田生命金沢ビル……………☎0762(62)8257

※日曜・祭日・土曜日は原則として定休日となりますが、東京フォトプラザのみ、水曜日が定休日となります。

静岡	420・静岡市追手町1の6 日本生命ビル……………☎0542(53)2135
京都	604・京都市中京区柳馬場通御池下ル柳八幡町65 京都朝日ビル……………☎075(255)2315
岡山	700・岡山市下石井1の1の3 日本生命岡山第2ビル……………☎0862(31)3246
広島	730・広島市中区八丁堀16の11 日本生命第2ビル……………☎082(228)3821
高松	760・高松市天神前10の5 高松セントラルスカイビル……………☎0878(34)6166
福岡	810・福岡市中央区天神1の14の1 日本生命ビル……………☎092(761)4466
鹿児島	892・鹿児島市新屋敷町16の21 公社ビルA-214……………☎0992(25)1105
沖縄	902・那覇市松川2の4の1 泉ビル……………☎0988(84)3030

海外にお出かけの方に

万一旅行の途中で、カメラに事故が発生した場合は、各国にサービスステーションがありますからお尋ねください。リストは、各サービス・ステーションにご請求いただければ、お送りいたします。

オリンパス光学工業株式会社/〒160・東京都新宿区西新宿1の22の2新宿サンエービル

IJXA・0883・5MS